

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 大口弘和
 幹事 谷口優
 会報・雑誌委員長 山本英次

No.37

慈愛の種を播きましょう Sow the Seeds of Love

2002~2003年度 RI会長 ビチャイ・ラタクル

きょうの例会
 第994回 平成15年 5月13日(火)

講演 “ゲンジボタルの話”

世紀東急工業(株)部長 吉岡 良一氏
 (紹介 三好君)

先週の記録
 第993回 平成15年 5月6日(火) 曇り

◆“君が代” “我等の生業”

◆出席報告

会員	70(65)名	出席	45名
出席率	69.23%		
前々回	4月15日(修正出席率)	96.92%	

◆ビジター紹介 2名

舎人副幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方はオーキッドルームにお集まり下さい。
2. 次回例会終了後、現・次年度クラブアッセンブリーを開催致しますので担当の方はお残り下さい。
3. 創立20周年記念誌・昭和RCよりIM記念誌・ロータリーの友・ガバナー月信が来ておりますので、お帰りにお持ち下さい。

大口会長挨拶

喫煙と禁煙

みなさん、こんにちは！

名北RC加藤さん、名南RC石川さん、ようこそ。ごゆっくりとお過ごし頂きたいと思います。

さて、喫煙が健康に多大な害を及ぼすことについては、すでに多くの統計学的調査からも明らかにされており、さまざまな病気の発症と進行に対し、直接・間接的に関与していることは確立した考え方となっております。タバコは口腔の健康にも多くの害を及ぼしますが、1980年代後半ごろから歯周病の重要な危険因子

であることが多くの疫学的研究や臨床研究から明らかにされており、喫煙は糖尿病と共に歯周病の二大危険因子の一つであります。喫煙の口腔への悪影響はタバコに含まれるニコチンやニコチンの代謝産物によるところが大きいといわれています。

ところで禁煙することは非喫煙者が考えるほど簡単ではないようです。その最大の理由はタバコの成分であるニコチンに精神依存症があり、簡単にコントロールすることが出来ない状態になっているからであります。また一度は禁煙しても1年後の禁煙成功率は50%に満たないのが現状であります。

喫煙に関する最近の新聞報道には次のようなものがあります。

- * 母親の喫煙が子の喘息に影響。1.33~1.34倍高い。調査は2000年度、全国35地域の3歳児81,212人対象(回答率84%)
- * 飼い主の喫煙で猫のガン(悪性リンパ腫)発生2.4倍。(米国・マサセッツ大・1993年から2000年)。
- * 禁煙していたら男性の22%の死亡が防げた。厚生省、4万人を10年間追跡調査。喫煙者死亡率、男1.6倍・女1.9倍。ガンでは男1.6倍・女1.8倍。循環器疾患では男1.4倍・女2.7倍。喫煙者が一人もいなかったら10年間の死亡がどれくらい予防できたかを推定したところ、男の22%、女の5%が予防可能だった。「もう遅いと言う事はない、一刻も早くやめるべき。その効果は明白。」

健康増進法が5月より施行され首都圏の私鉄の駅構内が全面禁煙になった。また日光市では「日光市環境美化都市条例」で文化財周辺での歩きタバコや市内全域で吸殻などのポイ捨てを禁止したなど愛煙家には肩身の狭い時代となって来ているようです。

地区協議会報告

◆舎人次年度幹事

4月27日(日)、豊橋ゴールデンRCホストによる地区協議会がホテル日航豊橋にて開催されましたのでご報告致します。まず、ジョナサンB.マジニアベ次期RI会長メッセージが豊島ガバナーエレクトより伝えられ、その骨子は以下の通りです。

RIテーマ「Lend a Hand」「手を貸そう」

- 一、あなたのクラブに手を貸そう
- 一、あなたの天職に手を貸そう
- 一、あなたの地域社会に手を貸そう
- 一、世界に手を貸そう

として、世界から貧困を減らすことを第一の目標とされています。

次に地区方針として

1. 新しい次世代を担うべき若者達へ深い関心を持ち「心」の支えとなる奉仕活動を誠心誠意、盡しましょう。
 2. 環境問題に積極的に取り組んでゆきましょう。
 3. ロータリー財団（ポリオプラスを含め）米山奨学会に会員一人一人が意義を感じ、広い視野にたって努力を続けましょう。
 4. 会員の維持から増強に繋がってゆく努力、智恵、体制作りを自分の問題と捉へ達成いたしましょう。
 5. 国際博成への更なる努力を続けてゆきましょう。
- と、掲げられました。

午後からは各分科会に分かれ、会長エレクトと共に第一分科会に出席しました。

リーダーである岡部ガバナーよりロータリーは何の為に金と時間を使っているのか、我々が動けば誰かが助かり喜んでもらえる、ありがとうと感謝してもらえる、まわりの喜びを受ける為に奉仕活動とライフが必要、リーダーシップ養成が必要、才能、情熱、経験、成功するには明確な目標、効果的な対策、何がしたいか！どのようにやりたいか、ビジョン、なぜなのかの説明が必要、又アドバイザーとして豊島ガバナーエレクトよりロータリー組織の拡大と改造論、特に自分は二つの奉仕活動を逆三角錐の底点で支えオーガナイズしてゆくのガバナーの役目と理解し努力してゆく所存でありますと述べられた。

加藤（重）次年度新世代委員長

第六分科会は、新世代、インターアクト、ローターアクト、ライラと四つの委員会が瀧本次期新世代副委員長の開会宣言で始まりました。豊島ガバナーエレクト、田中次期西尾張分区ガバナー補佐の開会挨拶に続き松本パストガバナーの「国際理解教育」についての講話がありました。この後、藤井次期新世代委員長。堀井次期インターアクト委員長。加藤次期ローターアクト委員長。金子次期ライラ委員長から各事業方針の説明があり、フリートーキングの形で各副委員長からも若干の意見が出されました。そして松本パストガバナーの講評と萩本次期地区副幹事の挨拶で閉会しました。

新世代をはじめとする各委員会が次世代の人達の育成や奉仕の機会を伸ばす為、数々のセミナー等を開催し一生懸命取り組んでいる事にロータリアンの一人として今以上に支援を惜しまないように感じました。

山本（英）次年度社会奉仕委員長

分科会は福田浩三パストガバナーの「決議23-34」の話から始まりました。23-34決議というのは1923年の

セントルイス大会で決議されたもので「職業奉仕」の原則に「団体奉仕」活動を取り入れるべし、としたもので、クラブがひと固まりとなって行動するだけで足りるような事業よりも、広く全てのロータリアンが個々の力を動員するようなものの方がロータリー精神によりかかっているとされています。またクラブの団体奉仕活動は継続的なプロジェクトとは別に毎年ひとつ異なったもので年度内完了が望ましいとされています。

次に榊原義嗣アシスタントリーダーの話で「決議92-286」についての話。

クラブにおける団体奉仕については地域社会における奉仕のニーズを調査し会員の職業上の能力や趣味を活かせ、IACやRAC、RCC等他のグループとも協力でき、地域社会の参加推進を促すとともにRIテーマに沿った一般社会に認められるようなプロジェクトを策定すること、そして年度更新においては他の諸団体に当該プロジェクトを移譲すること。とされています。

次期RIテーマは、「Lend a Hand」（手を貸そう）で、まさしく社会奉仕そのもののようなテーマです。「クラブに」「天職に」「地域に」「世界に」手を貸そうと提唱されています。

当クラブの社会奉仕テーマは最近の地域における安全神話の崩壊に鑑み、地域における弱者の保護プロジェクト「護身のすすめ」を提唱したいと思います。

最近、路上強盗、引ったくり等の偶発的犯罪が多発し、被害者になるのは女性や子供、老人といった「犯罪弱者」と言われる人々が多く、被害に遭うまで、まさか自分が犯罪の当事者になるとは思いもしなかった、というケースが多いようです。

これは犯罪のみならず大規模災害や流行性疾患などについても大事に至るのはそれぞれのケースの「弱者」といわれる人々が多いと言われています。

「安心して歩ける街」「災害に強い街」造りは、弱者といわれる人たちが自ら危険を自覚することから始まるのではないのでしょうか。

本プロジェクトでは弱者に手を貸すべく被害のケーススタディーやこれらの広報、安全啓蒙活動、安全設備の提供等を通じて地域の街づくりに貢献し、もって私達の住む地域に手を貸す活動にしたいと思います。

例会変更のお知らせ

名古屋守山RC	5/14(木)夜間例会の為、18時～
名古屋南RC	5/14(木)環境保全委員会例会 (夫人の集いと合同)の為
名古屋和合RC	5/14(木)春の家族会の為、 5/14～5/15エキシブ鳥羽
名古屋東RC	5/19(月)春季会員・家族懇親 会の為、5/20(火)18時～
名古屋名東RC	5/20(火)春の家族会の為、 5/17(土)飛騨高山方面

◆ニコボックスは次回掲載と致します。

◆次回例会（5月20日）友愛の日